

なみえ 議会だより

2004・11・7

106号



9 月定例会

平成15年度 決算審査・認定

- ◆ どのように使われたか 平成15年度決算審査…………… 2～ 8
- ◆ 視点・論点 町税・国保税納入実態は …………… 9
- ◆ 一 般 質 問 12 人 登 壇 …………… 10～ 22

9月定例議会

平成 16 年第 3 回浪江町議会定例会が 9 月 7 日から 9 月 17 日までの 11 日間の会期で開催され、一般質問には 12 人が登壇するなど活発な質疑が交わされました。

今議会に提案された議案は、決算の認定、専決処分の承認（16 年度一般会計補正予算）、浪江町税特別措置条例の一部改正など 15 の議案、議員発議による意見書 3 件が提案され、いずれも原案どおり認定・可決しました。

請願・陳情では、請願書 2 件（採択）、陳情書 1 件（採択）が審議され、意見書 3 件を関係機関に提出しました。

平成 15 年度 決 算 審 査

一般会計 歳入決算額 79 億 9939 万円

決算の認定について

一般会計と特別会計を合わせた決算額は歳入総額 143 億 4129 万円（前年比△1.7%）、歳出総額 139 億 3980 万円（前年比△0.4%）で形式収支は 4 億 149 万円の黒字決算となりました。一般会計では 2 億 239 万円、特別会計では 11 会計の合計は、1 億 774 9 万円となり各会計とも黒字決算となりました。（賛成多数で可決）

一般会計決算質疑

歳入

町有財産の有効な管理と活用は

質問

- ① 不動産売却収入の土地売却収入を宅地造成事業特別会計に一本化すべきではないか。
- ② 財産収入の中で目的が変わってしまった土地の管理運営は。

総務課長

- ① 制度の意義も含めて十分検討してまいります。
- ② 遊休財産について需要があれば処分するのが大原則で

す。今後需要があるか調査をいたします。

税、住宅使用料滞納の要因は

質問

- ① 軽自動車税の滞納がなぜ発生するのか。
- ② 住宅使用料滞納 938 万円の内容と対応は。

税務課長

- ① 車検時に急に払われるという状況があります。景気低迷による所得の減少などで、その他の税も含めて滞

納していると想定されます。

総務課長

- ② 現年度分 28 名 274 万円、滞納分 22 名 664 万円です。対応は臨戸訪問、訴えの提起、分割払いなどねばり強い徴収を行います。

高齢者に優しい住まいづくりは

質問

- ・高齢者にやさしい住まいづくり 2 件の内容と、在宅介護支援センターの住まいの相談件数は。

健康福祉課長

- ・当初予算は 4 件分で、20 万円の上限で 1 割 2 万円の個人負担となります。県 2 分の 1、町 2 分の 1 の事業です。住宅改修関係の相談件数は 16 件です。

質問

- ・住宅介護に対する要望が強まっています。PR と町の政策判断は。

町長

- ・町民の需要に沿って住宅助成事業の拡大と PR に努めてまいります。

決算額77億7539万円

歳出

増えつづけるごみ
処理コスト、町民
の協力を

質問

①不法投棄ごみの実態と対策は。

②平成15年度古紙回収事業は736トンで前年比133トンの増。可燃ごみも前年比413トン伸びております。その原因と対策は。

住民生活課長

①大量不法投棄が津島の民地でありました。その他9件です。環境衛生監視員の見回りと、看板等を設置し注意を促しています。

②平成14年から家庭でごみを燃やせなくなった影響とあります。平成17年4月からプラスチックも分別となったため、各行政区で説明会の開催や公民館事業と連携し減量に努めます。

子どもが
安心して育つ
環境を

質問

①児童虐待に関する相談と対応は。

②次世代行動計画策定は（少子化対策の検討）。

③津島保育所の新築計画は。

教育長

①児童相談所に3例相談しましたが十分な対応がしてもらえませんでした。親権との関係で苦慮しています。が、学校と教育委員会で対応し最大限努力してまいります。

健康福祉課長

②アンケートを実施した段階です。来年度以降前期、後期5年ずつ10年計画を策定する予定です。

統括保育所長

③現在のところ計画はありません。

企業誘致と
南工業団地の
ゆくえは

質問

①企業誘致促進費28万円の予算で不用額20万円の結果はなぜか。

②公共事業評価委員会で浪江南工業団地造成事業についてどのような検討をされたのか。

企画調整課長

①測量等の支出がなかったためです。企業誘致に関しては内部検討し努力してまいります。

②昭和60年頃から経過を整理し内部で検討しているところで年度内に方針を出す予定です。

継続事業と補助金
の見直しは

質問

①行政区活性化補助金の使われ方について、今後の考え方は。

②シルバー人材センターの補助金は適正か。

③マリナーパークへの一般会計支出がつづいている。費用対効果を考えレストランとバーベキューハウスのどちらを主として、今後運営していくのか。

町長

①創意工夫をしている区と、そうでない区があり、少々当てが外れた部分があります。良い形で地域の活性化につながるよう補助の仕方を模索します。

②本来は生きがい対策でありました。今後、既存業者、雇用問題も含め補助金の見直しの時期と考えております。

③今後パークゴルフを視野に入れると、立地的に主軸はバーベキューハウスにする考えです。

教育・防犯・防災
対策は

質問

①小中学校の学力検定の結果は。

②防犯ブザー購入の効果は。

③防災無線戸別受信機の設置状況は。

教育長

①小学校5年の算数の平均が全県1位をはじめ、全県水準よりはるか上で、全国水準でも上回りました。

教育総務課長

②小中学生すべてに防犯ブザーを貸与したことは、子どもへの安全対策が図られたと考えております。

住民生活課長

③全世帯6776機が設置済みです。今後故障、取替え等で50機を予算化しております。

特別会計決算質疑

15年度

貸付未収金が改善

奨学資金貸付事業特別会計

歳入で1267万円、歳出で1134万円。執行率は94・6%となっております。

奨学資金の貸付は1134万円で、前年度決算より72万円の増。貸付未収金は75万円となり前年度より22万円の減少となりました。

質問

貸付の際の保証人はあるのか。

教育総務課長

連帯保証人がございます。

4752万円の黒字

国民健康保険事業特別会計

歳入総額は2億5149万円で前年度より3・8%の増。歳出では2億396万円で前年度対比1億8022万円、

9・9%の増となりました。

これは保険給付費で一人当たり12万3593円（前年比2万1765円増）となり、高額医療費が前年度より2180万円の増加などによるものです。

質問

国保税の不納欠損額の中身と滞納額2億5900万円は今後どうするのか。

税務課長

不納欠損は222件、2400万円で、中身は生活困窮者、転出者、行方不明、死亡などによるものです。

滞納者対策ですが、所得150万以下の世帯の滞納者が71・5%占めております。所得がないという状況もあり、いろいろな方法で滞納額を減らす考えです。

質問

滞納者に対して一律に資格証明書を発行するやり方ではないのか。県内では発行していない町村もある。柔軟な適用の検討は。

町長

滞納者において悪質なのか、生活困窮か、実態を調査しつつ、今後制度の変更も検討しなければと考えております。

質問

滞納者の失業対策とか、払える状態にする考え方はないのか。

助役

有効な施策をさらに検討してまいりたいと思います。

老人医療費の支出2・3%増

老人保健特別会計

75歳以上の老人及び65歳以上で障害認定を受けている老人の医療給付事業です。

歳入総額2億7002万円（対前年比0・9%増）、歳出総額2億6825万円（対前年比2・3%増）で、差引き177万円の黒字決算となりました。

決算の特徴は老人保険受給者数は延べ4万3934人、前年度比1255人減、4・7%減となった一方、一人当

りの医療費諸費は62万1285円（前年度より4万4154円の増）となり、医療費の高額傾向がづついています。

質問

高額医療の限度額を超えた医療費の償還はどのように処理されているのか。

健康福祉課長

高額医療費償還の申請率は97・1%、2196万円で、未申請者は134件（金額で105万円）です。償還の再通知をすれば時効は中断されることになっております。

用語解説

【高額医療費の償還制度】

平成14年10月から開始されたものです。一定限度額を超えた医療費について請求すれば返還される制度です。初回のみ申請で、代理申請か、郵送、町健康福祉課で受理することになっております。

下水道接続

1848戸

接続率 78・1%

下水道事業特別会計

歳入総額8億7845万円、歳出総額8億1840万円で、差引き6004万円の残額となっております。

下水道建設工事では権現堂、川添、牛渡、樋渡地区の一部でおこなわれ、事業費は4億2777万円、下水道維持管理費は6166万円となっております。

質問

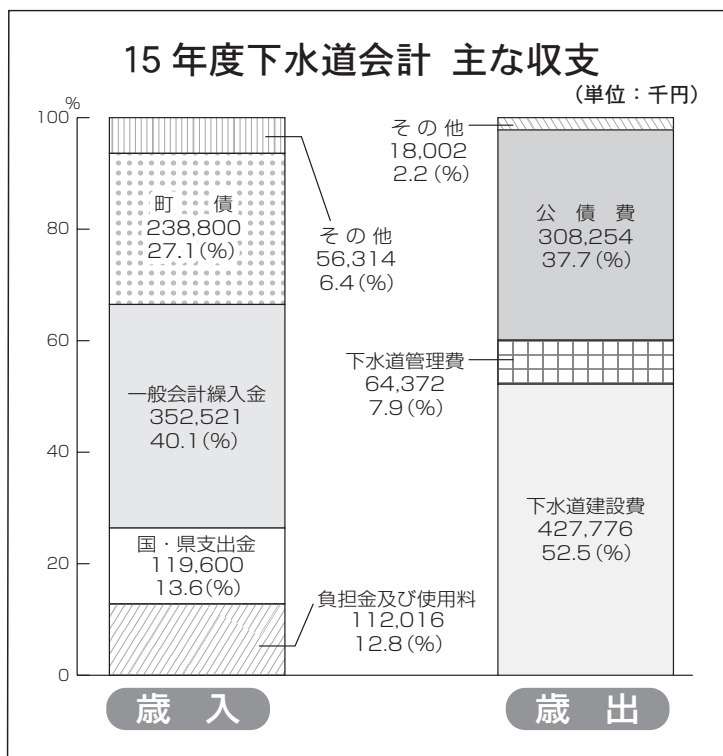
受益者負担金や使用料未収金の解消計画と、汚泥運搬処分委託料の今後の見通しは。

上下水道課長

未納者宅に直接出かけ収納に努めているところです。汚泥は処理人口が増えれば処理量も増えるものと計算しております。

質問

15年度の建設費が4億2700万円で、使用料は前年度より500万円しか増えてい



ない。今後の見通しは。

上下水道課長

基本計画では620haで、現在191ha、32%の整備となっており。今年度から平成17年度にかけ、認可の変更をとるべく作業中であります。

質問

下水道事業から合併浄化槽に切り替えるなど見直すべきでないか。

町長

今年度申請のみどりが丘、

幾世橋については計画通り進める考えです。合併浄化槽のシステムを整備しそれを両立させたいと考えております。

質問

一般会計からの下水道事業繰入れは平成15年度までいくなっているのか。

質問

一般会計からの下水道事業繰入れは平成15年度までいくなっているのか。

上下水道課長

43億4965万円であり

居宅・施設サービスとも利用増

介護保険事業特別会計

平成12年度から始まった介護保険は、平成15年度の在宅サービス受給者数378名(前年比26名増)、施設サービス受給者113名(前年比5名増)となり、制度の定着化が進んでいます。

質問

ショートステイの利用が前年度比で14・3%の減となっている。なぜか。

健康福祉課長

ショートステイの利用希望に対して、空きがないということでございます。

質問

老健施設と特別養護老人ホームの待機者数と待機場所を把握しているのか。

健康福祉課長

9月7日現在で老健施設の待機者が浪江町で51名(相双管内467名)、主な特別老人ホームの待機者はオンフル双葉84名、サンライト大熊12名、福寿園10名の浪江町民が

入所待ちとなっております。待機場所は圧倒的に自宅でございます。

〔要望意見〕

老健施設と特養ホームの待機者が増えている。老健施設の建設計画の実現のために町長先頭に取り組んでいただきたい。

4777万円の利益

水道事業会計

水道事業収益の決算額は3億6800万円で、総費用の決算額は3億2023万円となつています。それぞれの決算額を前年度と比較すると収入では116万円(△0・3%)の減となり、支出では809万円(△2・5%)の減となっております。(賛成多数で認定)

監査委員の決算審査意見

給水状況 年間の総排水量261万8千m³で、前年度と比較すると、総排水量で8万6千m³、有収率は82・6%で、昨年より2・5%下回っている。有収率の向上になお一層努力することを期待するものである。

反対討論

地方交付税削減ありきの「三位一体改革」は、国の財政政策の失敗を地方に転嫁するもの。冷害対策と雇用対策が不十分で終わったこと。人件費9143万円の削減の一方、棚塩の防潮林を破壊してのパークゴルフ場に8857万円。国保税と介護保険料の引き上げ、滞納制裁措置としての資格証明書発行は問題であり、決算認定は反対です。

賛成討論

町税や交付税の減収を補うために1億9200万円の町債を増やして財源を確保している。人件費の削減努力については感謝したい。冷害対策は厳しい財政の中でできる限りの対策をされた。パークゴルフ場は健康老人をつくるためには是非とも必要な施設。厳しい財政の中で最大の効果を求めたものであり、決算認定は賛成です。

一般会計

2億9千万円 追加補正

主な質疑・議案

補正予算について

① 一般会計

普通地方交付税、地方特例交付金及び平成15年度決算の繰越金確定により、2億9064万円を追加し、総額を81億786万円としました。

歳出の主なものは財政調整基金への積立金1億9000万円、公共施設維持基金積立金2000万円、道路維持費2000万円などである。

質問

ふれあいセンター駐輪場工事費131万円について、場所と台数と形状は。

生涯学習課長

職員の出入口の北側駐車場、20台分です。風を考慮し東西にスチール製(2点固定)のものを設置します。

質問

1億9000万円の財政調

整基金の積み立てがあるが、今後基金を活かした具体的な施策があるのか。

総務課長

目的積立金でないのではありません。三位一体改革で厳しくなる財政に備えた積立金です。

質問

梶田画伯から寄贈絵画の亀裂補修費の450万円について、亀裂の原因と今後の保存管理は従来どおりか。

町長

管理の問題も合わせて、作品の補修の進捗に沿って検討します。

質問

健康福祉計画の次世代行動計画策定にあたり、次世代法8条の3に書かれている、住民の意見を反映させるために具体的な措置をどのように検討されたのか。

健康福祉課長

関係課や幼稚園、保護者、

関係団体等の声を聴きながら計画を策定し議会に示します。

いこいの村なみえ1000万貸付

② 専決処分 一般会計

歳入歳出それぞれ1000万円を追加し、いこいの村なみえ(福島なみえ勤労福祉事業団)に1000万円を運営費として貸付したものです。

(全会一致で承認)

質問

建物収入でいこいの村なみえへの貸付金558万円の根拠は。繰越損失金1億1531万円の改善計画は。

産業振興課長

今回は固定資産税相当額を考慮してきめました。

町長

高金利借り入れの一本化に向け取り組んでいます。

利用が増える介護サービス

③ 介護保険事業特別会計

平成16年度介護保険事業会計は、平成15年度事業確定による補正で、1587万円を追加し、総額を9億7587万円としました。

質問

介護給付準備基金を活用して、利用料軽減等の措置を検討されるのか。

健康福祉課長

基金は、町負担の上昇が考えられますので、それに使う考えです。

利用料軽減については今後検討してまいります。

④ 国民健康保険事業特別会計

平成15年度事業の確定により3343万円を追加し、総額を2億2932万円としました。

⑤ 国民健康保険直営診療施設事業特別会計

平成16年度国保直営特別会計は、1433万円追加し、総額を1億1922万円としました。歳入は繰越金で、歳出の主なものは医療機器の備品購入費であります。

(全会一致で可決)

⑥ 老人保健特別会計

平成16年度老人保健特別会計は、平成15年度事業の清算に伴う補正で、4215万円を追加し、総額を22億8315万円としました。

(全会一致で可決)

⑦ 公共下水道事業特別会計

平成16年度公共下水道会計は、3161万円を追加し、総額8億2102万円としました。

(全会一致で可決)

⑧ 農業集落排水事業特別会計

平成16年度農業集落排水事業会計は、570万円を追加し、総額5408万円としました。

(全会一致で可決)

改正の条例

① 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

平成16年度から保健福祉計画等策定委員会が設立されることに伴い、介護保険事業計画等策定委員会及び児童育成計画策定検討委員会委員を廃止するものです。(賛成多数で可決)

質問

① 児童育成計画策定委員会で少子化対策の計画は策定されたのか。

健康福祉課長

① 今年度に次世代育成推進法に関する計画策定を予定しています。

質問

② 児童育成計画策定委員会を廃止する理由は。

健康福祉課長

② 保健福祉計画策定委員会を立ち上げた理由は、医療、保険、福祉等の策定計画に15人以内の委員でより専門的に協議していくということも大きな理由です。

② 浪江町税特別措置条例の一部改正について

特別工業等導入地区における固定資産税の課税免除の期間を2年間延長するものです。

質問

現在この措置条例の対象となっている事業所はあるのか。

税務課長

対象事業所はありません。今回の条例改正の農工法につ

いては、浪江北団地、浪江南団地が区域の指定を受けています。免除要件として低工法が免除要件がいいので農工法適用しないで低工法を適用してきました。

③ 職員の給与に関する条例の一部改正について

人事院勧告に基づく県の寒冷地手当に見直し勧告をうけて「当分の間は適用しない」という給与条例の一部改正です。

質問

官民格差の問題は寒冷地手当廃止の理由にならない。

総務課長

県の人事委員会の勧告については、葛尾村、川内村は制度的に残ることになっていきます。津島も残ると思います。これから検討され明らかになると思われます。



同意された人権案件

① 特別功労者の決定について 第33回町表彰式において表彰する特別功労者として、次の8名の方々が顕彰されることについて全会一致で同意されました。

○(故)馬場 弥六

浪江町議会議員として地方自治の進展に寄与された功績により

○(故)濱 谷 善 正

郵政事業を通じ、地域の発展に尽力された功績により

○(故)古 田 一 郎

教育の振興に尽力された功績により

○(故)紺 野 義 尚

教育の振興に尽力された功績により

○(故)金 井 光 雄

郵政事業の発展に尽力された功績により

○叶 幸 一

浪江町長として4期16年にわたり浪江町発展に尽力された功績により

○佐々木 保彦

統計行政に尽力された功績により

○志 賀 信 夫

「年間テレビベスト作品」がテレビ評論で2003年度芸術選奨文化科学大臣賞を受賞

② 教育委員会委員の任命について

教育委員会委員に遠原肇一氏を再任することに全会一致で同意しました。

遠 原 肇 一

浪江町大字権現堂字東住寺39番地の1



第105号の訂正とお詫び

議員表彰の1行目「福島県長村議会」は「福島県町村議会」の誤りでした。お詫びいたします。

採

択

皆さんから
出された

請願・陳情

採択された請願

○政府米の買い入れと、備蓄を
充実させる意見書提出を求
める請願

〔請願者〕

福島県浜通り農業を守る会

会長 亀田 俊英

○アメリカ産牛の輸入解禁に
反対する意見書提出を求め
る請願

〔請願者〕

福島県浜通り農業を守る会

会長 亀田 俊英

採択された陳情

○町道改修等に関する陳情書

〔陳情者〕

浪江町大字権現堂字

佐屋前59-5

佐屋前区長

長瀬 昭昌 他2

議員発議の
意見書○政府米の買い入れと、備蓄の
充実を求める意見書

〔提出先〕

内閣総理大臣

農林水産大臣

○アメリカ産牛肉の輸入解禁
の中止を求める意見書

〔提出先〕

内閣総理大臣

農林水産大臣

経済産業大臣

○高速自動車国道の整備促進
に関する意見書

〔提出先〕

内閣総理大臣

総務大臣

財務大臣

国土交通大臣

経済財政政策担当大臣

平成15年度 一般会計・特別会計決算額

(単位:円)

区 分		歳 入	歳 出
一 般 会 計		7,999,392,680	7,775,396,970
特 別 会 計	奨 学 資 金 貸 付 事 業	12,678,712	11,346,000
	文化及びスポーツ振興育成事業	4,135,598	3,904,000
	国 民 健 康 保 険 事 業	2,051,494,392	2,003,968,286
	国民健康保険直営診療施設事業	133,764,131	110,432,163
	老 人 保 健	2,270,018,079	2,268,247,921
	公 共 下 水 道 事 業	878,451,496	818,404,875
	工 業 団 地 造 成 事 業	6,017,670	0
	農 業 集 落 排 水 事 業	54,206,432	47,971,904
	宅 地 造 成 事 業	7,267,389	6,327,100
	介 護 保 険 事 業	915,875,577	893,573,198
	財 産 区 管 理 事 業	7,996,633	223,394
小 計		6,341,906,109	6,164,408,841
合 計		14,341,298,789	13,939,805,811

町民の血税

町税・国保税 納入実態は！！ 町民の生活・所得の現状は！

視点 1

町税・国保税の課税と
納入の推移は

●町税●（町民税・固定資産税・軽自動車税等）

（単位：万円）

	課税額	収入済額（収納率）	不納欠損額	滞納額（前年比）
14年度	217,186	195,075（89.8%）	1,792	20,318（93.1%）
15年度	209,433	186,783（89.2%）	1,109	21,540（106.0%）

（参考：15年度個人県民税現年度収納率 90 市町村のうち 86 番目）

●国保税●

（単位：万円）

	課税額	収入済額（収納率）	不納欠損額	滞納額（前年比）
14年度	98,473	72,210（73.3%）	1,566	24,696（104.6%）
15年度	99,594	71,271（71.6%）	2,420	25,903（104.8%）

（参考：14年度収納率 90 市町村のうち 87 番目）

- 1 町税の課税が減少している一方、滞納額は増加している。
- 2 国保税では、滞納額が年々増加しており、現状では国保会計の運営が心配される。
- 3 町税・国保税の滞納の背景には、景気低迷や雇用不安が考えられる。

質問

不納欠損額・滞納額の処理対策は、

答弁

滞納処分停止事務処理要領を定めて

視点 2

なぜ滞納者が増え続けるのか

納税義務者及び 課税標準額の推移は （町民税－課税状況調査）

	納税義務者	課税標準額
14年度	8,258人	140億3000万円
15年度	8,025人	132億8600万円
比較	△233人	△7億4400万円

欠損処理をしております。滞納額解消については、内部の組織である収納率向上対策委員会で検討しております。そして根気強く、あらゆる手段を講じて解消に努めて行きます。

質問

町民の生活・所得の現状は

答弁

総所得100万円以下世帯

1870世帯

加入者全世帯の46%

総所得150万円以下世帯

2360世帯

加入者全世帯の59%

総所得150万円以下の加入者

4350人

全加入者の47%

国保事業会計は、低所得者及び生活困窮者の加入者が多いこと、この方々には減免措置を講じているところです。

論点

国保税滞納者の短期保険証及び資格証明書の発行について

質問

低所得者・生活困窮者に町で就職を斡旋することはできないのか。

答弁

町でも滞納者対策に色々と議論を重ねております。就職を含めた所得を得るための何らかの方策も検討していきたいと考えております。

資格証明書発行数の推移

	滞納者率	短期保険証	資格証明書発行数	
14年度	21.1%		浪江町	185
			県内町村	858
15年度	21.7%	100件	浪江町	209
			県内町村	938

論点1 滞納者の保険証を取り上げ資格証明書発行は、命のパスポートを奪うものであり直ちに中止すべきである。

論点2 何とか工面して税金を支払っている方もおります。また所得は少ないが固定資産を多くもっているため高額の国保税を町民の義務として支払っている方もおります。この方々のためにも滞納者への措置は妥当と思われる。

町政を問う

— 質問通告事項 —

一般質問

●佐藤文子議員

- 1 観光協会設立後の状況と今後の見通しについて
- 2 パークゴルフ場オープンについて
- 3 環境問題について

●小黒敬三議員

- 1 長期総合計画の進め方について
- 2 合併議論の進捗状況について
- 3 町のシンボル(松・コスモス・カモメ)について

●鈴木辰行議員

- 1 職場の確保と企業誘致取組みについて
- 2 国保税について
- 3 15年度の入札状況について

●田尻良作議員

- 1 常磐自動車道の着工について
- 2 末森地区上水道整備事業について
- 3 田尻みどりが丘地区下水道整備事業について

●勝山一美議員

- 1 老人世帯専用住宅の増設について
- 2 道路行政について(生活用道路の整備について)

●紺野榮重議員

- 1 介護老人保健施設建設について
- 2 大柿ダムと水不足解消について

●橋爪光雄議員

- 1 携帯電話のエリア拡大について
- 2 町営住宅バリアフリー化について
- 3 子育て支援について

●吉田数博議員

- 1 J R 東日本株鉄道敷地の現状認識と今後の対応について
- 2 地域防災の取組みについて

●佐々木英夫議員

- 1 居宅介護住宅改修にあたっての事前協議について
- 2 シックハウスの対策について
- 3 TMOにかかわる駅前開発活性化と町づくりについて

●馬場績議員

- 1 「三位一体」の改革と地方財政について
- 2 産業・雇用対策について
- 3 国保・介護保険について
- 4 原発事故と安全対策について
- 5 農業政策について
- 6 地域格差の是正について
- 7 交通安全について
- 8 憲法擁護について

●渡部貞信議員

- 1 請戸海水浴場の遊泳禁止と次年度の対策について
- 2 保安林地の利用について

●佐々木茂夫議員

- 1 北伸産業にかかる環境影響対策について
- 2 県道鹿島・浪江線西台地域歩道設置について

《一般質問の掲載方法》

議会だよりに掲載する一般質問の内容は、紙面の関係上、
1 議員 3 件までの質問、答弁をそれぞれ 1,000 字以内に要約
しておりますので、ご了承願います。

観光協会とパークゴルフ場の現状と今後の展望は

佐藤 文子^{ふみこ} 議員



質問

浪江町は、山、海、川と、見渡す限り観光資源に囲まれて、申し分のない立地条件にあります。観光協会設立の現状と今後の展望は。

産業振興課長

今年の7月20日に、町内の観光事業に関わる団体、事業組合、個人事業者及び観光振興に賛同、賛助してくださる町内立地企業等で構成されて協会が設立された。

既存の観光資源、観光事業の取り組みについて検証を行うとともに、観光資源の整備充実、新たな資源の開発に向

けた協議を進めて支援していくつもりです。

質問

請戸海岸の海水浴場の全面遊泳禁止について来年はどうなるのか、そして将来はどうなるのか。

建設課長

なぎさリフレッシュ事業の結果、飛砂という問題が起き上がったため現在のようなテトラポットを積んでいる。請戸海水浴場は町民の避暑、憩いの場であり、また隣接する請戸漁港とともに町の重要な観光資源であることから、来年度開設に向け飛砂対策工事の早期完成を県に要望していくつもりです。

質問

パークゴルフ場の事業の取り組みと誘客の見通し、また、隣接するマリナーパークの有効活用について

産業振興課長

年間を通したプレーが可能であり、2万4000人の誘客数を見込んでいます。新設するパークゴルフ場のPRと併せて利用促進を図ります。

ゴミの分別収集は

質問

平成15年度は年間2億8000万もの大金がゴミにかかっています。ゴミを個別収集にしてリサイクルの徹底をし、経費削減とゴミ出しが困難になつてきている高齢者の援助をする取り組みをする考えはないか。

住民生活課長

双葉地方広域圏では、ごみ収集業者と委託契約し郡内

1368カ所にて計画的に収集を実施している。浪江町単独では、個別収集は困難と思われる。また、リサイクルの徹底についてはリサイクルハウスを設け、各団体等でPRに努めています。

公的施設の分煙・禁煙対策は

質問

公的施設内の全館分煙、または禁煙の実施について。

総務課長

厚生労働省より職場におけ

教育長

学校における禁煙、分煙については教育的な面から見ても好ましくない。校舎校地内全面禁煙に向けて検討し一層促進するよう努力していくつもりです。



パークゴルフ場オープン（マリナーパーク）

まちの設計図・長期総合計画 の進め方を問う

小黒 敬三けいぞう 議員



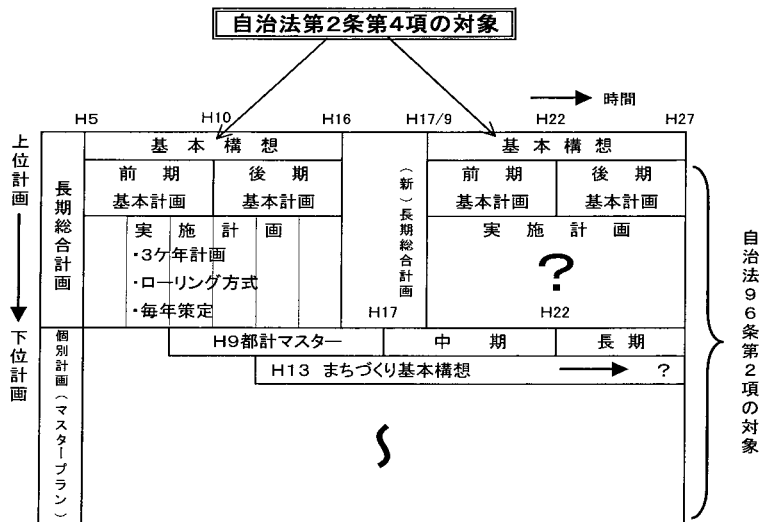
議会の議決事項にすべき、との提言もあり、各自治体でも地方自治法第96条第2項の規定により、「議会の議決すべき事件に関する条例」を議

員提出で条例化する動きが出てきている、当町議会でも提出があれば、町は理解をします考えがあるか。

質問

平成17年9月の議会で議決をするようになって、

(新)長期総合計画は、基本構想と基本計画(前期・後期)、実施計画の3つから構成され、地方自治法では基本構想しか議会の議決対象になっていない。しかし、まちづくりの設計図ともいえる基本計画は、本来一体のものであり、単なる説明資料ではないにもかかわらず、法律で明文化されていない。ところが、平成7年、地方分権一括法に基づく地方分権推進委員会が設置され、基本計画も



長期総合計画実施プラン

郡内合併の進展は

企画調整課長

議会で真摯に議論があり、問題提起をされれば、真剣に検討課題としてまいります。

質問

合併新法と改正地方自治法に基づいた、新たな合併の期限は、平成22年3月31日までですが、町村長会の中ではどのような論点で話し合いが進められ、また、障害となっている重要な点は何か。

町長

8ヶ町村で1つの自治体として機能する方向を見いだそうという

町のシンボルを 活かせ

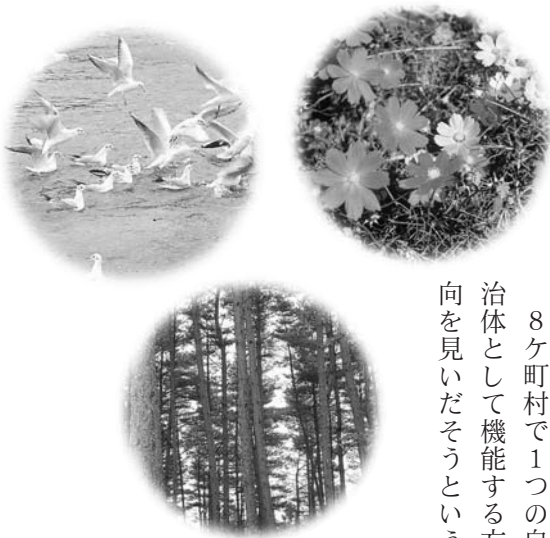
質問

町のシンボルの松、コスモス、カモメを、来町者と町民に身近に感じられるような対策と、観光事業に生かせ。

町長

町の施設や行事に積極的に活用してまいります。また、提言(街路樹に松、松や花壇をオーナー制度や広告媒体とする。)もありましたので、民間の皆様にもお願いしながら、庁内で検討を進めます。

観光地へコスモスの植栽や観光パンフ、土産品への活用など、シンボルが観光資源となるよう観光協会の中で検討を図ります。



町民の職場確保と企業誘致の取り組みは

鈴木 辰行たつゆき 議員



質問

失業者対策と地元企業への雇用促進対策は。

町長

失業者対策として、15年度は緊急地方雇用対策特別交付金事業で17名の新規雇用を確保しております。この事業は雇用期間中に新たな就職先を探していただくのが狙いです。状況が厳しい中、次年度も継続したいと考えております。地元企業への雇用確保要請を、ハローワークと連携して先日行ったところです。今後とも町内企業にも近隣企業についても雇用促進の協力依頼、

失業者対策について積極的に取り組む考えております。

質問

企業誘致をホームページで紹介するだけでなく、積極的な企業誘致取り組みが必要ではないか。

町長

この時代ホームページで浪江町を紹介するだけで企業が来てくれるとは思っておりません。今後は、新たな手段を講じなければならぬと認識しております。

質問

誘致企業の優遇措置、税金特例等による取り組みは。

企画調整課長

農村地域工業等導入促進法、低開発地域工業促進法等による所得税、法人税の課税免除に対する減収補填措置等は活用してまいりました。また昨年10月より原発特租法に

基づく不均一課税措置を導入しております。また企業に対して雇用増大を条件に設備・施設の整備に補助金交付事業も実施しております。

浪江町国民健康保険 税込納率、県下90市 町村で87番目対策は

質問

国保税込納率が県内市町村の最下位クラスで推移しているが対策は。

税務課長

催告書の回数を増やし、また税の納期を6期から8期に増やして取り組んでおります。管理職の夜間徴収も昨年に引き続き実施したいと考えております。さらに県税職員と町職員による併任徴収制度を実施しております。

質問

町民の国保税一人当り・戸当りの負担額が高いのでは。

税務課長

県平均一人当りの税調定額では0・1%下回っております。戸当たりでは県平均を7・3%上回っておりますが、ほぼ県平均並みと認識しております。

健康福祉課長

14年度の国保に拘る医療費は県内74番目で決して高くない位置におります。

質問

医療費削減の取り組みは。

健康福祉課長

生活習慣病の予防としてこれまで筋力トレーニング、食生活改善に努力してきました。現在、玄米にぎにぎダンベル体操を始めてこの運動を町全体に拡大したいと考えております。

平成 15 年度町発注工種別落札業者一覧（上位 5 社）

工種別 順位	土木工事	建築工事	上水道工事	電気設備	空調設備
①	横山建設(株) 12,920 万円	横山・東北 JV 9,450 万円	(株)浪江設備 4,284 万円	相双電気(有) 1,942 万円	(株)小黒設備 4,446 万円
②	東北土木(株) 5,901 万円	東北建設(株) 2,520 万円	(株)叶屋 3,969 万円		
③	降矢工業(株) 3,391 万円	(株)佐藤商事 1,575 万円	双葉設備(株) 2,305 万円		
④	(有)島抜重機 1,830 万円	(株)泉田組 850 万円	(株)小黒設備 1,613 万円		
⑤	酒井工業(株) 1,419 万円	大橋工務店 690 万円	ヨモギタ(株) 1,131 万円		

質問

15年度の町の発注総額と工種別入札状況は。

総務課長

請負総額11億7030万円、落札率95・82%になりました。工種別は右記のとおりです。

常磐自動車道と 上下水道整備は

田尻 良作りょうさく議員



常磐自動車道着工 について問う

質問

- 平成16年4月14日に、常磐自動車道富岡ICが開通されました。富岡ICから浪江ICの高速道路整備状況についてお尋ねします。
- (1) 浪江工区の工事時期と浪江ICの開通はいつ頃の予定なのか。
 - (2) 浪江工区の用地買収は終わったのか。
 - (3) 買収用地の維持管理は。
 - (4) 文化財は発掘されたのか。
 - (5) 日本道路公団は民営化される予定だが、工事内容に更また影響があるのか。



末森地区上水道整備が進む

- 建設課長
- (1) 現段階において時期を明示することはできません。理由は「道路公団民営化による予定だが、工事内容に更また影響があるのか。」
 - (2) 用地買収については大熊工事区91%、双葉工事区95%、浪江工事区96%の進捗率でございします。
 - (3) 平成16年度においては7月に買収地の草刈等を実施、
 - (4) 新会社が決定期間とすることです。
 - (5) 浪江ICの開通はいつ頃の予定なのか。
 - (6) 路線地域住民への事業概要説明会の計画は。

- (1) 現段階において時期を明示することはできません。理由は「道路公団民営化による予定だが、工事内容に更また影響があるのか。」
- (2) 用地買収については大熊工事区91%、双葉工事区95%、浪江工事区96%の進捗率でございします。
- (3) 平成16年度においては7月に買収地の草刈等を実施、
- (4) 新会社が決定期間とすることです。
- (5) 浪江ICの開通はいつ頃の予定なのか。
- (6) 路線地域住民への事業概要説明会の計画は。

その後は状況を見て判断管理に努めます。

- (4) 文化財発掘状況は、浪江工事区全体で24カ所の試掘箇所があり、既に14カ所の試掘が終わり平成17年度完成を目標にしています。
- (5) 平成16年6月2日道路関係四公団民営化法案が成立しました。常磐道については、新会社を引き継ぐことが決定しており当分の間政府の債務保証が可能なことから、民営化の影響はないと考えます。
- (6) 現在まで公団と連携を取り設計協議、用地買収について進め、浪江町高速道路推進協議会を通じて、本体工事の着手前に各地区において、地元説明会を開催したいと考えます。

末森地区水道整備 事業について問う

質問

- (1) 事業計画の中で未供給の住宅が何軒あり、今後未供給住民への対応は。
- (2) 事業計画の中で消火栓の施設箇所が計画されていないが、

上下水道課長

- (1) 今年度より3カ年で整備を図っていく計画で、末森地区の全体に配管が計画されておりあります。この地域においては、点在する民家が多く100%解消は限界があり、3年間の間に事業費の確保が図られるのであれば、配水管の増設を進めます。
- (2) 消火栓の施設につきまして、町公共施設整備実施計画に基づき年間約3基設置を目標に整備を進めます。

田尻みどりが丘地区 下水道整備事業 について問う

質問

今回の事業について町では地元住民に対して、事前に事業概要の説明を十分行っているのか。

上下水道課長

公共下水道の事業の推進は、広報や回覧板等で町民に周知を図り、事業内容の理解とご協力を得ながら事業を実施しています。住民への対応は、事業の受益者負担金等の説明会を実施しています。

老人世帯専用住宅の 増設の考えは

勝山 かずみ
一美 議員



質問

高齢者のみの世帯数は。

健康福祉課長

8月1日現在で65歳以上の高齢者は5306人で、古いかも知れませんが、平成13年12月現在で1人世帯の高齢者男性で101名、女性で337名、合わせて438名となっております。

質問

白梅荘の入居状況は。

健康福祉課長

夫婦世帯が1人、残り単身世帯が19名です。8月末現在で待機者が3名ございます。



入所待ちの白梅荘

た。1人退所いたしましたので、申込み順により1人入ることになっております。

質問

今2名の待機者ということ将来増えていく状況か、その辺のことをどうなさるのか。

町長

これからますます増えていくであろう高齢者の皆さん、特に1人暮らしの方々のことを親身に考えていかねばいけないわけで、中期的には新たに高齢者専用住宅というようなものも検討していく時期なのかなと考えている次第です。

質問

待機中の人で自家水が10月頃から3月頃まで水が枯れるということ、この間飲料水は近所からもらい、風呂水は雨水を利用している事実、どうでしょうか。

健康福祉課長

難しい状況ですが何らかの対策は今後してまいりたいと考えております。

生活用道路の整備 について

質問

交差できない、消防車が入れない、こういう生活用道路をどのようにしていくのか。

建設課長

現在、町道は1142路線がございます。そのうち2m未満の道路は75路線になります。これからの路線につきましては、生活用道路、通学路、交通量、利用度合い、接続性等を考慮しながら、改良整備をさせていただいている所です。

質問

カーブ等で見えない危険箇所
の整備等は。

町長

すべての危険箇所を要望どおり直してやりたいというのが行政の本当のところでございますが、予算との関係もあり、優先順位というのが当然でございます。非常に危険なところについては処置をしていると思っております。調査し、必要とあれば施工まで持っていきたいと考えております。

大柿ダム

水不足地域の解消を

紺野

えいしげ
榮重 議員



事に水不足の原因があるのではないか、今後の対策を伺います。また、先人は大変な苦勞の中で浪江堰等作られたと思います。この堰を復活すれ

ば、小野田、牛渡地区を潤すわけです。余った水は幾世橋に流れていきます。是非とも浪江堰の復活を願うものです。

旧浪江堰復活を問う

質問

今年の梅雨は空梅雨で水不足が生じた。浪江用水路の最末端の幾世橋長田、落合地区の水不足にどのように対応されるか伺います。

産業振興課長

水量計算上は水のかかる地域となっているが、土地改良区、水利組合等で協議します。

質問

旧浪江堰が壊れてしまった



復元がまたれる浪江堰

産業振興課長

元年災害で堰底右岸が流出、災害復旧を実施しておりません。また、ダム完成後に堰を撤去することになっておりました。今後の対策としては、用水路整備と面整備を図り安定的な用水の確保を考えております。

質問

水路にゴミ等の放棄、枯れ草の放棄、油まで流れてくる。町としての対策を伺います。

産業振興課長

防災無線での啓蒙、ゲートを設置しごみ対策を実施しておりますが、さらに地域住民の意識の高揚を図ります。

介護老人保健施設について

質問

平成17年度介護施設整備計画見直しに対する対応について伺います。

町長

計画見直しについては、相双の福祉事務所管内も含め県全体の中で要望を何とか実現

させたい。需要見込みの調査をすぐにでも始めたいと考えます。

質問

隣接町村との連携対応について伺います。

健康福祉課長

現在の待機者数では数を満たさないと思います。近隣の町村に理解を求め、協議してまいります。

質問

介護保険で利用者と保険料負担との関係で利用しない納入者にどのように理解してもらうのか伺います。

健康福祉課長

介護費用を国民全体で支え合う介護保険制度の趣旨のPRに努め、介護費用の抑制に努めてまいります。

質問

元気な高齢者づくりをどう進めるのか。

健康福祉課長

老人クラブ等の活動を通じてスポーツ、介護予防事業、生活支援事業、自立継続サポート事業、筋力トレーニング教室を開催しております。

情報化時代の

まちづくりを!!

橋爪

みつお
光雄 議員



携帯電話のエリア 拡大を図れ

質問

国道114号沿線の賀老より津島間の山間部地域は、携帯電話が使用できない。津島中心街にアンテナ塔が2基設置されているが、中心街周辺以外は使用できない。高台にアンテナ塔の移設と、賀老より津島間にアンテナ塔の新設について、町として電話会社に対して積極的な取り組みをしていただきたい。

町長

平成12年度に国の補助事業



通話不能地域（賀老地内）

を活用し、NTTドコモとauの2社による携帯電話用の鉄塔施設を整備しました。役場支所の所在地ということでは

補助採択になりました。アンテナ塔の移動は現実的に難しいと思います。今後、電話不能地域を解消するためには、

新たな設置が不可欠かと考えています。福島県としても山間過疎地における情報通信の是正格差という観点から、事業を推進しております。当町としても津島地区での補助採択について強く要望してまいります。

町営住宅バリアフリー化を図れ

質問

浪江町の65歳以上の高齢者は5207人、高齢化率23.6%です。全国の住宅の段階での転倒、骨折事故が発生している。階段に手摺取り付け計画はないのか。

総務課長

手摺を取り付ける計画はありません。実態として手摺が必要な高齢者の方、あるいは要介護認定者の方が入居していますので、申請があれば手摺を取り付けることについては認める方針です。高齢者専用住宅を検討すべき時期にきていると思います。

積極的な子育て 支援を

質問

ブックスタート、2年2カ月間の利用実態と職員はどのような対応をされたのか。

健康福祉課長

平成14年度から開始しまして、生後3カ月健診時、絵本と出会う親子のふれあいをテーマに絵本の読み聞かせを行いました。職員、ボランティア団体「あ・の・ね」の協力を得ながらブックスタートを開始しました。年間の開催数30回、計737人に実施しました。

質問

全乳幼児にブックを贈呈する計画はないのか。

健康福祉課長

本の贈呈計画については、これまで多くの種類の絵本を購入し、備え付けており、町民の方々の評判も良く今後、贈呈については検討してまいります。

地域防災対策を問う

吉田 数博かずひろ 議員



建設課長

橋下流左岸堤防が危険視されておりますが、その対策は？
重要水防区域については県に改修を要望しておりこの箇所は現況調査の上強く要望してまいります。

浪江町地域防災計画に基づき計画策定以降2年間の経緯並びに今後の対応について、部門別に具体的にお質しをいたします。

水害対策

質問

地球規模での異常気象が頻発、台風災害、新潟・福井の集中豪雨が発生し甚大な被害を受けております。当町も元年災によりその対策がとられたが、まだ不十分であり特に河川改修が急務、特に加倉大

地震対策

質問

大地震があつた場合ブロック塀等の倒壊は緊急対策上重要問題、特に通学路の安全確保は災害弱者の子供達にとり大切。建築基準法に基づき調査を行い、問題箇所は行政指導を行うべきと思うが。

住民生活課長

町広報紙で建築物の耐震診断及び耐震改築の必要性をPR、またブロック塀の耐震構造をPRし浪小スクールゾー

原子力防災計画

質問

ンを対象に県とともに実態調査を実施、行政指導を検討中です。

最近の各原子力発電所の事故やトラブル発生をみる時、

防災計画に基づき対策をとる必要がありますが、自然災害と異なり、放射線による被爆が体で感じられないという原子力災害の特殊性があります。これらを踏まえた対策が必要であり、情報伝達対策、高齢者や病人等の災害弱者対策、避難対策の計画対応は充分かお尋ねいたします。

住民生活課長

原子力災害緊急時医療用品保管管理協定に基づきヨ一素剤と保管防災活動機材の整備

JR鉄道敷地の管理責任について

質問

JRの鉄道敷地の現況はの

もできております。消防団員も原子力防災研修を実施しており、防災知識の普及や災害弱者対策にも努めており、防災無線の活用、マスコミを通じた正確な情報提供を迅速に行い、避難対策も国、県、関係機関と連携して対応をしてまいります。

建設課長

JRに刈り払い等の管理を強く要望してまいります。担当部局であるいわき市にあるJR土木技術センターと十分協議をしてまいります。



草木が繁茂するJR敷地

駅前活性化計画は

佐々木英夫 ひでお 議員



居宅介護住宅 改修は

質問

居宅介護住宅改修について、ケアーマネジャーと建築士が一体となって進めてはどうか。

健康福祉課長

住宅改修が要介護者にとって利用しやすい満足のいくものとなるよう改修にあたっては事前に要介護者本人、家族、ケアーマネジャー、施工業者等関係者が集って協議するよう説明しておりますが、指摘

のようなことがあれば、負担軽減のため、より効果のある改修が行われるようケアプランを立てる必要がある、そのための専門的知識の習得のための研修が必要と考えております。

今後ケアーマネジャー連絡協議会等の意見交換会、あるいは協議会等の場において提案していきたいと考えております。

シックハウス 対策は

質問

シックハウス対策について町所有の施設を調査し改善を質す。

建設課長

シックハウス対策となる建物として十分な把握ではない

が、5年以内の建物は16棟程度あり、建築材料仕上げ材、塗装等については使用する前に、健康被害等を及ぼす恐れのない材料を使用するよう施工指導をまいります。

TMOに関わる駅前 開発活性化と町 づくりは

質問

TMOに関わる駅前開発活性化、町づくりが必要と思うが計画を質したい。

町長

大都市は別として、浪江のような小さな町の空洞化は最近非常に顕著になってきている、それぞれの町において解消に向け努力しているが、浪江町もさまざまな検討がなされています。駅前活性化は欠

かせないものと認識しているので、TMO設立に向けた強い要請を受け、官民一体となる町づくりを進めるべく浪江町中心市街地活性化基本計画を策定しているところであります。平成9年3月

に策定した浪江都市計画マスタープランに基づき駅周辺商店街整備計画を長期総合計画の中に盛り込んでいくべきか検討してまいります。



駅周辺の活性化を

双葉精器(株)の解雇の実態と 今後の雇用対策を問う

馬場

いさお
績議員



町長

津島での新たな企業誘致は、極めて重要と考えております。県・国に直接働きかけるなど、精一杯力を発揮する考えです。

質問

誘致企業の閉鎖という重大事態に対し、町は雇用確保にどう対応されたのか。

助役

従業員の再就職について最大限の配慮を要請。再就職決定は正社員21名中8名、パート社員21名3名の合計11名に留まっています。今後ともハローワーク、町内企業の求人情報、就職支援サポートセンターの活用など可能な限り支援してまいります。

質問

プロジェクトチームをつくるなど新たな企業誘致の方針は。



ここに新たな工場誘致を（旧双葉精器）

米価暴落・米政策 はこれでよいのか

質問

今年の仮渡金は昨年より四割安の一俵1万1000円程度。豊作による「過剰米」

は一俵3000円の融資扱い（ほかに区分保管3000円加算され一年後に米引渡となる）。これで何が「新しい米政策」なのか。暴落の主な原因は、政府が家畜のエサ用に予定していた、7、8年前の異臭、超古米など、昨年の不足分を大幅に上回る105万トンもの

米放出によるもの。これでは担い手農家など大規模農家ほど打撃を受ける。下落の原因と政府の責任をどのように認識しているのか。

産業振興課長

備蓄米の放出に下落の原因があるにしても、米の需要が減ってきており、市場原理によって米価の変動が生じるものと考えております。

質問

8月10日に農水省の審議会がまとめた食料・農業政策のあり方を検討した「中間論点整理」は、これまでの幅広い価格政策をやめ、「担い手に集中する」というもの。多様な農家への支援こそ地域の将来につながる。担い手集中は見直すべきではないか。

町長

集落営農や水路等の維持管理を進める上で小規模農家との連携は重要であり、担い手集中には限界があると考えております。

津島地区の 携帯通信の拡充と 交通安全対策は

質問

葛尾村は51%の世帯で携帯電話の利用ができる。同じ山間部で津島は1、2キロ、新たな通信基地の設置など今後の具体的な進め方は。

企画調整課長

通信格差是正事業は17年度が終期なので継続を要望します。補助採択要件の緩和、建設事業費助成の引上げなど津島地区の補助対策について県と通信事業者に強く要望していきます。

質問

危険箇所改修と津島中から津島分校までの歩道設置計画は。

建設課長

国道114号落石対策のために17年度実施予定箇所の測量、設計業務を委託し、国有林貸付申請と保安林解除申請の準備中と聞いております。

歩道設置は津島活性化施設ができますので、交通安全対策上、強く要望してまいります。



海水浴場再開でにぎわいを



請戸海水浴場の遊泳禁止と 次年度対策は

渡部 貞信さだのぶ 議員

開設中止の理由は

質問

請戸海水浴場開設中止の理由についてお尋ねいたします。

回覧においては潮流の変化のためとありますが、十分な調査の上での結果であったのかどうかお答えいただきたい。

町長

十分に潮流等確認の上禁止措置をとったのかということですが、地元の区長さん、浜祭り実行委員の方々の意見を総合的に勘案して禁止せざるを得ないということであがつてきたと解釈しております。

次年度対策は

質問

町長は、請戸海水浴場は町の観光資源であると答弁されておりますが、今年のようなことが続くと請戸海水浴場は死んでしまうという懸念が大であります。地域の振興と活性化を図っていただく上にも、次年度対策についてお答えいただきたい。

町長

飛砂対策についても、県当局にお願いしております。潮流ということになりますと大自然が相手、100パーセント安心できる状態にもつていかどうかは今後の課題ですが、町としても精一杯努力、次年度開設に向け対策にあたる所存です。

質問

町長より海水浴場の次年度対策ということで県当局とも協議されているという答弁をいただきましたが、飛砂防止のため突堤を延ばして対策を講ずるということも聞いておりますが、いつ頃完成するのか。飛砂のため海水浴場が開設できないとすれば大変なことでありますのでお答えいただきたい。

建設課長

飛砂防止対策のため中浜寄りに2カ所、約40メートルの突堤を設置10月頃には完成すると思っております。飛砂対策成果を見てテトラポットの除去等も含め、両方成果のあがるように対策を講じていきます。

保安林地の利用について

質問

請戸小学校前面は暴風保安林として指定されておりますが、時代の変化とともに保安林としての様相は一転しております。立木は一本もなく保

安林として活用できる状態にはありません。荒廃した保安林の開発計画はあるのか。竹やぶを刈り払い、跡地を整備して利用することはできないかお答えいただきたい。

産業振興課長

本地区は、田畑、住宅を守る壁の役割ということで暴風保安林に指定されております。県の計画には、保安林整備計画はありません。保安林環境整備を進め利活用については、県事業での保安林整備事業採択は厳しいということですので、今後検討協議してまいりたいと思っております。

質問

保安林の指定解除ができないとすれば、竹やぶだけでも刈り払って跡地の環境整備を図ってほしいと思いますがお答えをいただきたい。

産業振興課長

県の保安林整備事業は今ありません。土地所有者において管理していただくということの中で、県の許可を得て刈り払い等、環境整備することは可能であります。

北神産業敷地内の産業廃棄物の処分状況は

佐々木茂夫^{しげお} 議員



ン、紙ドラム入りのハイトナー約200トンが工場内に保管されています。液体状のドラム管は保管されており

ません。工場敷地内及び工場屋内とも悪臭は感じられなく、U字溝や廃泥枳に油膜はほとんど確認されませんでし

工場存続と地域住民との住みよい環境と共存共栄をさぐる

質問

北神産業にかかる環境影響対策について。

町長

北神産業は産業廃棄物にかかる処分や収集運搬に関する福島県の許可を得ていないため現在営業運転はしておりません。

工場敷地内の廃棄物の保管と油泥は、汚泥が1000ト



廃棄物の速やかな撤去を

車と人が往来できる安全・安心な西台地域の県道を求める

質問

県道浪江鹿島線西台地域の歩道設置について。

建設課長

県道浪江鹿島線西台地域の歩道設置につきましては、これまで予算確保を長年要望してまいりましたが、拡幅して歩道設置は物件補償、特に家屋等の補償費が多額となります。側溝に蓋かけの簡易歩道を要望したところ、道路北側が平成15年度から本年度完了予定になります。町として南側も同じ方法で要望してまい

た。工場周辺の樹木の立ち枯れにつきましては北神産業との有害物質との因果関係は稀薄だというふうに思われま

側溝整備で安全確保



りたいと思っております。請戸川橋梁の歩道設置についてですが、請戸橋そのものがかかり傷んできています。浪江町として浪江鹿島線の請戸橋同様・浪江落合線の高瀬橋も同様に老朽が進んでいますので県に要望しながら整備のあり方について議論をさせて頂きたいと思っております。

委員会報告

◆産業建設常任委員会◆

①視察研修日

平成16年6月1日～3日

②視察研修目的

●松尾村 堆肥センター管理運営状況について

●角館町 観光協会の事業内容・組織について

●男鹿市 沿岸漁業の状況について

③研修の概要

(1)岩手県松尾村「谷地中地区堆肥利用組合」

堆肥センターの運営には村より年間50万円の補助金が出ており、堆肥の利用は組合員が全利用している。

堆肥の生産は、酪農家より生の堆肥を搬入し、それに籾殻をまぜマニアスプレッターで攪拌し積立て、70度の熱を出してからローダーで3回程度切り返して良質の堆肥にしている。その堆肥を1立方メートル1500円で農家に提供し、組織の発足は平成9年3月で、事業概要は次のとおりです。

①事業の名称

農村総合整備事業（集落型）集落環境管理施設整備

②事業主体

岩手県 松尾村

国・県60%
村40%

③事業費（全体）

4907万3320円

④工期

平成8年9月27日～平成9年3月20日

⑤組合員

20名（酪農家4名、耕種農家16名）

⑥堆肥生産

年間300立方メートル

(2)秋田県角館町

観光事業については観光協会が対応。町は協会へ観光振興費1400万円を拠出し会員は1口1万円で、現在の会員は247名。

観光事業は協会で計画を立て事業を行っており、観光客も

平成15年は258万5千人。浪江町も観光資源は充分にあり、観光事業に取組むべきだと考えます。

(3)秋田県漁業協同組合北浦総括支所

県民漁であるハタハタの資源管理については昭和52年度に2822トン（北浦）水揚げされていた量が年を追うごとに減少し、平成3

年には6トン、県全体でも71トンまで減少、急激な減少に伴い危機を感じた漁業者が資源の回復を願って平成4年～6年まで3年間を全面禁漁することで実施された。しかし、全面禁止に至るまでには地区説明会、シミュレーションによる資源の推移、漁業者への配慮等々大変ご苦労された様ですが、県が5億円の支援策を講じ漁家経営の影響を極力抑え



堆肥センター研修（岩手県松尾村）

◆議会報編集特別委員会◆

1 視察研修日

平成16年

7月20日(火)～21日(水)

2 研修目的

●埼玉県宮代町議会・茨城県関城町議会の議会報編集に関すること

3 研修内容

(1) 埼玉県宮代町議会での研修

①議会の今をどう伝えるか

●一方的になりがちな議会広報を、町民からの提言を取り入れ、親しみのある議会報に努めている。

●一般質問は質問者が自らテープをおこし、507字以内で原稿をまとめ、見出しは内容にふさわしい文を19字以内にまとめる。

(2) 茨城県関城町議会での研修

①注目した編集方針

●一目見て内容がわかる見出し作り(例・防げ行政サービスの低下)

●余白を有効に使う(例・議員提出議案など余白に見出しをつけ見やすく、読みやすくしている)

②スピーディな発行

●定例会終了日の翌月15日に町広報とダブらないように発行している。

【両町議会が今後の課題としていること】

◆紙面の活性化のために、

○特集記事(話題のゆくえ)

○町民参加のページ(傍聴者に依頼)

○行政用語をやさしく表現

○活きた写真の撮影、レイアウトの技術向上

○見出しを読んだだけで内容がわかる編集

【研修を終えての改善・提言】

○浪江町議会報編集委員会でも斬新な表紙に衣替えすることを検討し、その第1回発表が次号です。さて、どんな表紙ができるか。

○発行直後に編集委員会を開き、前号の合評(良し悪しを率直に批判し合い、次号に生かす)をすることになりました。

○合評終了後に次号の編集方針を検討することになりました。

◆国道114号拡幅促進特別委員会◆

1 視察研修日

平成16年

8月23日(月)～24日(火)

2 研修目的

●岩手県水沢市

宮城県仙台市

(1)街なみ環境整備事業について

(2)街路景観の花木について

(3)研修内容

(1)町並み環境整備事業について

水沢市は、古くは古代の胆沢城をはじめ、中世の城跡、近世代の町割りや武家屋敷など市内いたるところに歴史の面影を見ることが出来ます。

特に大畑地区街なみ環境整備事業は胆沢地方の中核にふさわしい中心市街地の拠点性の向上として国道・県道の整備・JR東北本線高架化・区画整理事業を進めている。水沢市の中で平成9年度着手平成19年度完了予定の武家屋敷や蔵等を生かした街なみ環境

街路景観視察(水沢市)



整備事業(A1150・1ha)を調査しました。

(2)街路景観の花・木樹について

仙台市農業園芸センターは仙台東道路の東部に位置する水田地帯に財団法人施設として設置する園内には観葉

宮代町議会研修



町政を知る よい機会です

あなたも議会を傍聴してみませんか!!
次の定例会は 12 月に開かれます。

詳しくは議会事務局へ ☎ 34 - 0254

植物温室・果実の着く木・緑地と立ち木・多年生の花・一年生の花・季節間の花の見本園として育成管理をしています。

当町の 114 号線に置いても道路を利用する皆さんに魅力にあたえられる道路沿線づくりと人々が交流出来る空間造りの為、維持管理のし易い低い木の植栽と自然石プロックの利用・多年生の花と一年生の花の植栽・水路の水辺空間造りが大切である事を当町に提言します。

◇◇ 請願（陳情）の書き方 ◇◇

請願書・陳情書は、請願（陳情）する内容と請願（陳情）する方の住所、氏名を書き、押印して、紹介議員（陳情の場合は不要）1 人以上の署名または記名押印を受け、請願（陳情）の要旨、理由を記載したものを議長宛に提出して下さい。

（内容）	件名.....について 要旨..... 理由..... 平成 年 月 日 浪江町議会議長 様 《個人及び団体の場合》 請願者 住所 (陳情者) 氏名 印 (複数の場合は、代表者名)を別に定めて下さい。 《法人の場合》 請願者 住所 (陳情者) 氏名 印 (複数の場合は、代表者名)を別に定めて下さい。	（表紙）	請願（陳情）書様式 〇〇〇〇に関する請願(陳情)書 紹介議員 氏名 印 〔※陳情の場合は 紹介議員不要〕
------	--	------	---

議会活動の近況

【8 月】

- 1～4 日 双葉地方町村議会議長会研修
- 2 日 国道 114 号拡幅促進特別委員会
- 5 日 議会報編集特別委員会
- 9 日 国道 114 号拡幅促進特別委員会
- 10 日 双葉地方電源地域政策協議会
- 11 日 福島県リニア鉄道建設促進協議会総会
- 18～19 日 森林資源・水源税フォーラム
- 18 日 広域圏組合保健委員会
- 19 日 広域圏消防厚生委員会
- 20 日 国道 399 号改良整備促進期成同盟総会
- 23 日 正副議長研修会
- 23～24 日 国道 114 号拡幅促進特別委員会研修
- 25 日 広域圏総務委員会
広域圏議会運営委員会
- 30 日 第 3 回双葉地方広域市町村圏組合定例会
- 31 日 合併調査特別委員会

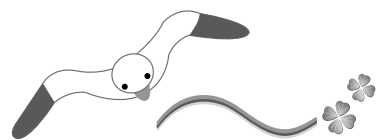
【9 月】

- 3 日 議会運営委員会
- 7～17 日 第 3 回浪江町定例議会
- 9 日 全員協議会
- 29 日 文教厚生常任委員会
- 30 日 全員協議会



【10 月】

- 1 日 議会報編集特別委員会
- 7～9 日 地域共生型電源開発特別委員会研修
- 13 日 産業建設常任委員会
- 14 日 町村議会議員研修会
- 15 日 議会報編集特別委員会
- 21 日 国道 114 号拡幅促進特別委員会
- 22 日 議会報編集特別委員会
- 25 日 双葉郡議員交流会
- 28 日 産業建設常任委員会（崩落現場調査）



町民の声

津島の地より

津島字棚戸12

藤原 美奈子



先日、私の知人が浪江から帰宅途中接触事故に遭い、しかも相手に逃げられ

てしまうということがありました。その現場は運悪く携帯電話が使えない区間で、近くに家もなく止まってくれる車もなく、仕方がないので車を走らせ家のあるところまで行き電話を借りて警察に連絡したとの事でした。

皆さんもご存知のように、この地域には携帯電話の使えないエリアが多く、その便利さを知ってしまうと、い

ざという時に使えないもどかしさを感じます。このことは、大きな台風の災害に見舞われた九州地方でのニュースの報道でも重要性を感じました。どの地域でも携帯電話を使えるように、行政の取り組みをお願いします。それから議員さんに何でも話し合ったりできる、形式ばらない懇談会を設けて頂きたいと思います。

田舎の役割

津島字町46

国分 晶子

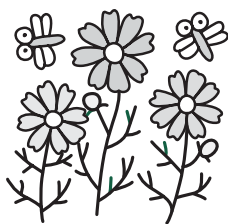


今、田舎が注目されています。これまででは、『何もない。つまらない。』と見

向きもされませんでした。『安全で安心のできる食物』を求めて、「母ちゃん市場」が誕生し、「昔はこんなおやつがあったよね」と言われて子供の頃に母親が作ってくれた「おやつ」の再現に挑戦してみたり。直売所に来られたお客さんに『津島の空気は、おいしい。水もおいしい。いいところだね』と言われて、ハッと気付いたのです。こんなに素晴らしい自然があることに。さ

わやかな風とおいしい空気と、そしておいしい水。都会の人たちにも、自然のすばらしさを感じ取ってほしい。そう思ったら、『グリーンツーリズム』。安心して食べられるものと言うと『スローフード』。私は『あちら語』は、あまり得意ではないけれど、今、世界各地で「人間性」を取り戻そうと、いろいろな試みがなされてきています。来年度からは、「山村留学」も、国の方針として提案されると聞いております。わが町でも山村の生活体験や、今の社会で心を痛めている子供たちとの交流ができれば、どんなに素晴らしいことでしょう。

北海道の余市町のような取り組みを参考にされ、山村留学の受け入れを是非、進めていただきたいと思います。それが心の豊かな子供たちの成長と、少子化対策につながることを願っている一人です。



編集後記

実りの秋、昨年の長期冷害による不作とは別に黄金色に輝く田んぼを見渡し、また稲刈りをしながら穂の重みを感じ一喜一憂されたことだろうと思います。ざかい広報紙も町民の皆さんから寄せられたアンケートをもとに、さらには先進地の研修をもつて読みやすい、親しみやすい「議会報だより」の発行に努めております。106号は平成15年度一般会計・特別会計の決算、平成16年度一般会計・特別会計補正予算等について各常任委員会で審議され、本会議でも承認されたものであります。ご一読いただき、今後のざかい広報紙についてのご意見、ご感想をお寄せください。

議会報編集特別委員会

委員 渡部 貞信